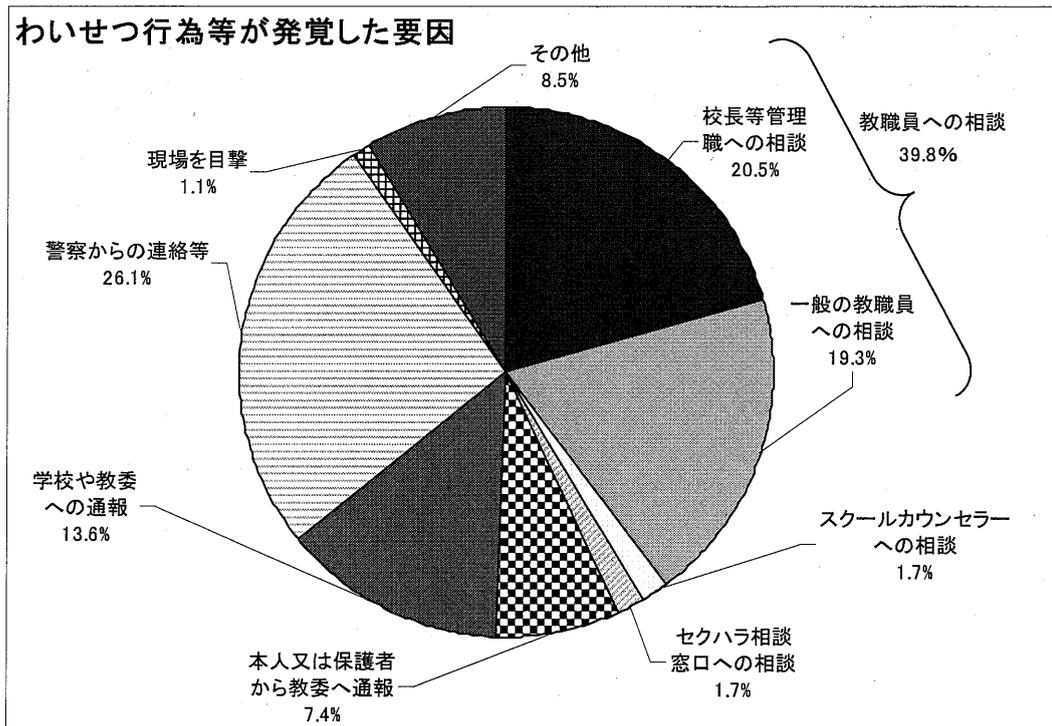


(7) わいせつ行為等が発覚した要因

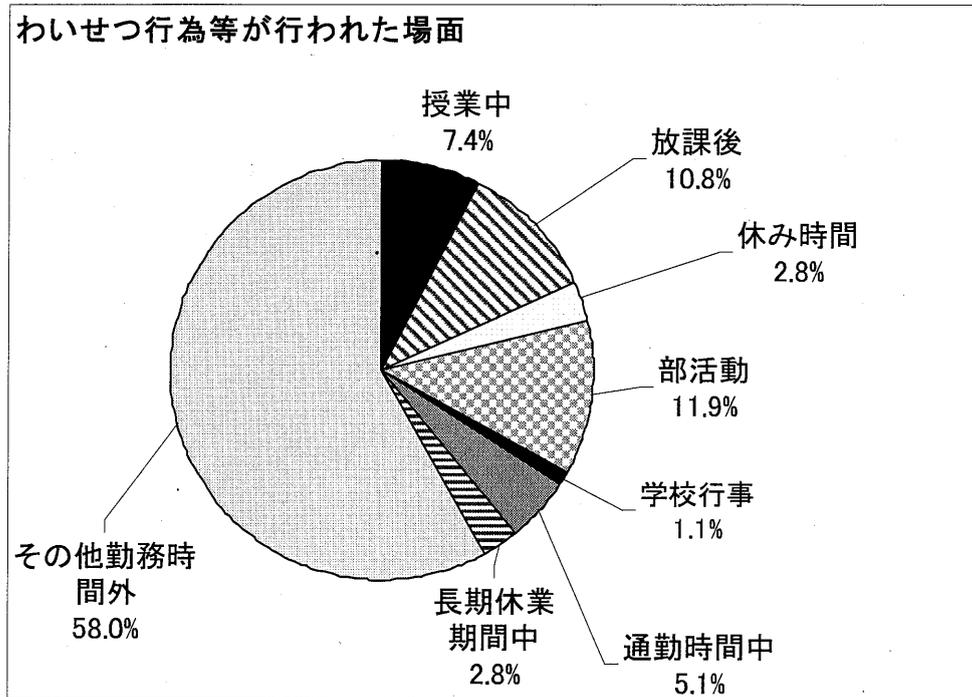
わいせつ行為等が発覚した要因で最も多かったものは「警察からの連絡等（教育関係者を介さず直接）」であり、全体の26.1%（46件）を占めている。続いて、「校長等管理職への相談」（20.5%、36件）となっており、これに「管理職以外の一般の教職員への相談」をあわせた「教職員への相談」は39.8%（70件）である。



		わいせつ行為等が発覚した要因	件数(件)	割合(%)
の教職員へ の相談	}	校長等管理職への相談	36	20.5
		管理職以外の一般の教職員への相談	34	19.3
		スクールカウンセラーへの相談	3	1.7
		セクハラ相談窓口への相談	3	1.7
		本人又は保護者から教委へ通報	13	7.4
		本人又は保護者以外の者から学校や教委への通報	24	13.6
		警察からの連絡等(教育関係者を介さず直接)	46	26.1
		現場を目撃	2	1.1
		その他	15	8.5
		合計	176	100.0

(8) わいせつ行為等が行われた場面

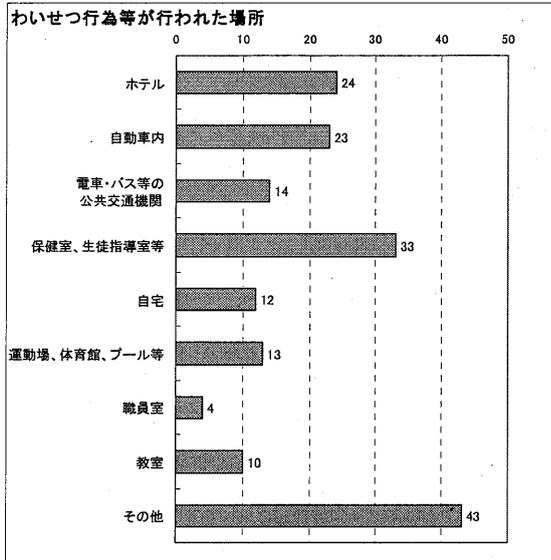
わいせつ行為等が行われた場面で最も多かったのが、「その他勤務時間外」であり、全体の58.0% (102 件) を占めている。続いて、「部活動」(11.9%、21 件)、「放課後」(10.8%、19 件) となっている。



わいせつ行為等が行われた場面	件数(件)	割合 (%)
授業中	13	7.4
放課後	19	10.8
休み時間	5	2.8
部活動	21	11.9
学校行事	2	1.1
通勤時間中	9	5.1
長期休業期間中	5	2.8
その他勤務時間外	102	58.0
合計	176	100.0

(9) わいせつ行為等が行われた場所

「その他」を除き、わいせつ行為等が行われた場所で最も多かったものは「保健室、生徒指導室等」であり、33件となっている。続いて、「ホテル」24件、「自動車内」23件となっている。

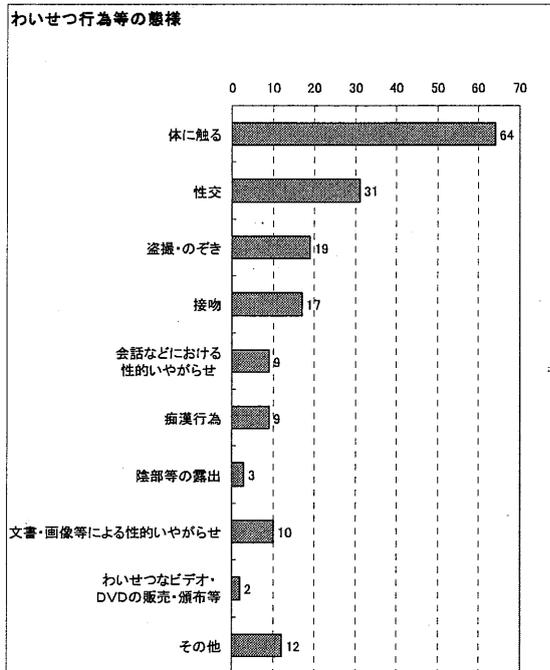


わいせつ行為等が行われた場所	件数(件)
ホテル	24
自動車内	23
電車・バス等の公共交通機関	14
保健室、生徒指導室等	33
自宅	12
運動場、体育館、プール等	13
職員室	4
教室	10
その他	43
合計	176

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。

(10) わいせつ行為等の態様

わいせつ行為等の態様で最も多かったものは「体に触る」であり、64件となっている。続いて、「性交」31件、「盗撮・のぞき」19件となっている。



わいせつ行為等の態様	件数(件)
体に触る	64
性交	31
盗撮・のぞき	19
接吻	17
会話などにおける性的いやがらせ	9
痴漢行為	9
陰部等の露出	3
文書・画像等(メール等を含む)による性的いやがらせ	10
わいせつなビデオ・DVDの販売・頒布等	2
その他	12
合計	176

※該当事項が複数ある場合には、最も当てはまるものひとつを選択回答。